

# 悠久のユーラシア 魅惑の国 ジョージアを探访する ~歴史・文化・食・世界遺産~

高校生無料  
会員・一般は有料  
オンライン



東京都立大学オープンユニバーシティでは、オンライン スペシャル講座を開講いたします。オンラインならではの特性を活かし、全国の様々な研究者や専門家が登壇し、ユニークかつ興味深い講座を提供します。今回は、古来から文明の十字路口として豊かな文化を育んできた「ジョージア」の魅力を様々な観点から探究します。また、特別講師として在日ジョージア大使館からレジャバ大使とダヴィド専門分析員もお招きします。

皆さんは、ジョージアという国名を聞いて何を思われるでしょうか。日本でも人気となったジョージア料理「シウクメルリ」や、ワイン発祥の地、ユーラシアの文明の十字路口としての数々の世界遺産などを想像されるかも知れません。大相撲・栃ノ心関や世界的プリマドンナ・アナニアシビリの活躍、宝塚歌劇での上演なども記憶に新しいところ。実はジョージアは、日本と同様「おもてなし」の国としても知られており、その精神は古くから大切にされてきました。そのような共通点もあり、日本とジョージアの関係は親密で、多くの日本人がジョージアを訪れています。昨年2022年には日本・ジョージア外交関係開設30周年を迎え、様々な催しが開催されました。

今回のオンライン・スペシャルは、文明の十字路口「ジョージア」(საქართველო)の奥深い世界を、歴史・文化・政治・芸術・食・世界遺産など様々な視点から探究します。

講座コーディネーターは、東京都立大学 人文社会学部 前田 弘毅 教授 が務めます。

前田教授(博士・文学:東京大学)の専門は、中東・ユーラシア研究で、ジョージアに関する多数の著作を出版されています。その他多くの研究者・専門家が登壇しますが、特別講師として在日ジョージア大使館からティムラズ レジャバ特命全権大使とダヴィド ゴギナシュヴィリ専門分析員(博士)をお招きします。両者は、本年1月に講談社から「大使が語るジョージア ~観光・歴史・文化・グルメ~」を出版されました。

優れた芸術と伝統文化、そして健康長寿を誇り、ユーラシアの隠れた文化大国であるジョージアは現在、海外の旅行先としても大注目を浴びています。その魅力を堪能していただければ幸いです。



講座ナビゲーター  
東京都立大学 教授  
前田 弘毅

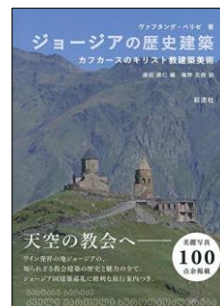
## 本講座講師に関係する著作



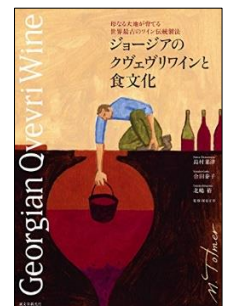
前田 弘毅 編  
(北海道大学出版会)



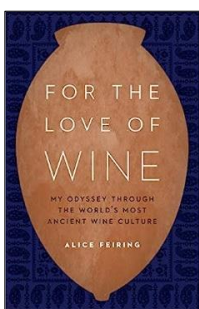
浜田 華練 著  
(知泉書館)



藤田 康仁 編  
(彩流社)



島村 菜津 共著  
(誠文堂新光社)



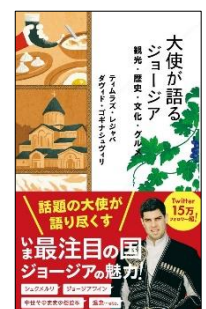
Alice Feiring 著  
(Potomac Books)



内田 州 共著  
(明石書店)



南島隆展  
(ギャラリー暁)



ティムラズ-レジャバ  
ダヴィド-ゴギナシュヴィリ著  
(講談社新書)

日時	10月24、31日	単位 2	高校生専用講座コード 2331G102
	11月7、14、21、28日		
	12月5、12日 18:30~20:00		

講座名	悠久のユーラシア 魅惑の国 ジョージアを探访する	受講料 16,000円 (8回) ※高校生無料
		定員 一般60名 高校生20名
		講座形式 オンライン専用講座

## 講座スケジュール

※アーカイブ配信（録画：7日間限定）視聴も可能です。

### 講師

10月24日(火) 18:30~20:00	<b>東西文明の会うところ~ジョージア歴史探访~</b> ジョージアは、文明の十字路口に位置してユニークな文化を発展させてきました。独特の言語と独自の文字を持ち、古いキリスト教信仰を保ちつつ、バグラティオニ王家による王国も約1000年続きました。コーカサス（カフカス）山脈の豊かな自然に抱かれたその歴史の魅力についてお話しします。	東京立大学 人文社会学部 教授 まえだ ひろたけ <b>前田 弘毅</b>
10月31日(火) 18:30~20:00	<b>ジョージアおもてなしの国の秘密</b> 本講座でジョージアの歴史、文化、自然環境などを全般的に紹介するほか、ジョージア人の自己アイデンティティの基盤をなす価値観、そしてそれらの歴史的背景について説明します。また、ジョージアでの生活環境、インフラ、食文化、経済等について概観的に解説します。 ※冒頭、ティムラズ レジャバ駐日ジョージア特命全権大使がお話する予定です。	在日ジョージア大使館 <b>ティムラズ レジャバ</b> 特命全権大使 <b>ダヴィド ゴギナシュヴィリ</b> 専門分析員
11月7日(火) 18:30~20:00	<b>ぶどうと十字架：ジョージアのキリスト教と祝祭</b> ジョージアのキリスト教の歴史は古く、4世紀頃までさかのぼります。その長い歴史と多様な文明との接触が、ユニークなキリスト教文化を育みました。この講義では、クリスマスやイースターなど、私たちになじみのある行事を通じて、ジョージアのキリスト教の歴史の一端を紐解いていきます。	東京大学 大学院 総合文化研究科（地域文化 研究専攻）准教授 はまだ かれん <b>浜田 華練</b>
11月14日(火) 18:30~20:00	<b>ジョージアの世界遺産と宗教建築の神髄</b> 古来より東西文化の接点だったカフカースに位置するジョージアでは、4世紀にキリスト教を国教として以来、固有のキリスト教建築が数多く作られてきました。この講義では、現地調査を通じて得た調査成果や豊富な写真を交えながら、ジョージアにおけるキリスト教の建築文化を概観します。	東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授 ふじた やすひと <b>藤田 康仁</b>
11月21日(火) 18:30~20:00	<b>長寿の秘訣 知られざるジョージア料理の魅力</b> コーカサス山脈が聳えるジョージアは、湧き水の宝庫。また黒海に面し、シルクロードの西端にあるこの国はモンゴル人が伝えたヒンカリ、地中海沿岸と共有するドルマなど多様なレシピの宝庫。コルアンダーやマリーゴールドなど様々なスパイスを多用するヘルシーな食文化の魅力に迫ります。	ノンフィクション作家 しまむら なつ <b>島村 菜津</b>
11月28日(火) 18:30~20:00	<b>世界最古のジョージア・ワイン 甕（クヴェヴリ）醸造とは</b> ワイン最古の国ジョージアは、近年、自然派ワインの新たな世界的潮流の発信地として注目されています。その秘密は独特のクヴェヴリ醸造と宴会文化にあります。世界的レストラン「ノーマ」にも提供されるジョージア・ワインを生産するワーデマンが現地からその魅力をお伝えします。	クヴェヴリワイン醸造家 /芸術家/フェザンツティア ーズ・ファウンダー <b>ジョン・ワーデマン</b>
12月5日(火) 18:30~20:00	<b>ジョージアとウクライナ戦争~EUとロシアの狭間で~</b> 史上最も地域統合が進んだEUとロシアとの狭間に位置するジョージアとウクライナ。その力の真空が生じやすい地域で、いま何が起きているのか。2008年8月にジョージアで勃発した武力紛争を皮切りに、ジョージア政治の現状や今般のロシアによるウクライナ侵攻の原因などを紐解きます。	早稲田大学 地域・地域間研究機構 次席研究員（研究院講師） うちだ しゅう <b>内田 州</b>
12月12日(火) 18:30~20:00	<b>ジョージア無垢なる魂 ピロスマニの世界</b> 約100年前に人知れず亡くなったジョージアの放浪の画家ニコ・ピロスマニ。今や国民的画家として子どもから大人までジョージア国民の心の中に生きています。「百万本のバラ」のモデルになったピロスマニの人生と彼の作品を現代に蘇らせた人々についてお話しします。	女子美術大学 大学院 美術研究科デザイン専攻 特別講師 /彫刻家 みなみしま たかし <b>南島 隆</b>

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは9月6日(水)9:00以降

- インターネット [www.ou.tmu.ac.jp/web/](http://www.ou.tmu.ac.jp/web/)
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口  
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)
- ・ 申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ・ 申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ・ 高校生は、在学高校名と学年を明記してください。

※高校生の参加は無料です。8回シリーズの講座ですが、高校生は1回だけの参加も可能です。

知的財産法  
チャットGPTなど生成系AIの法的課題

高校生無料  
会員・一般は有料  
オンライン

日時 11月1、8日(水) 18:30~20:00

単位  
1

高校生専用講座コード 2331G104

講座名 **チャットGPTなど生成系AIの法的課題**

受講料 5,000円(2回) ※高校生無料

定員 一般40名 高校生20名

講座形式 オンライン

チャットGPTを始めとした生成系AIの活用について、盛んに論議がなされており、具体的な利活用についても検討されています。本講座は、知的財産法を専門とする東京都立大学教授の山神清和が生成系AIの法的課題を知的財産法上の論点を中心として解説します。

講座スケジュール

※アーカイブ配信(録画:7日間限定)も視聴できます。

●11月1日(水) 18:30~20:00

以下の諸点について前提知識の整理と確認を行う。

- ・生成系AIと従来のAIの違い
- ・生成系AIの実例
- ・生成系AIの仕組み(学習と推論)
- ・各国における規制枠組みの現状  
EU(欧州連合)のAI包括規制案とその動向  
OECDのAI原則とその改正動向  
米国著作権局のガイドライン  
日本のAI戦略会議と知的財産推進計画2023  
(その他、10月末までに動きがあれば随時追加)

●11月8日(水) 18:30~20:00

知的財産法とAIの相克を著作権法と特許法を例に解説する。

- ・生成系AIが著作権法にもたらす課題  
AIの学習に他人の著作物を用いることの是非  
AI生成物の著作権はだれか  
AI生成物は著作物か  
AI生成物が他人の著作権を侵害する可能性
- ・生成系AIが特許法にもたらす課題  
生成系AIが発明をすることは可能か!?



著作権判例百選 第6版  
(有斐閣 別冊JURIST2019年)



講師

やまがみ きよかず

山神 清和

東京都立大学大学院  
法学政治学研究所  
教授

講師略歴

東京大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究所博士課程単位取得退学。東京大学大学院法学政治学研究所付属ビジネスローセンター特任准教授、首都大学東京都市教養学部法学系准教授を経て、現在は東京都立大学大学院法学政治学研究所教授。専門は知的財産法で、ソフトウェアの法的保護について研究。

主な著作に『教育現場と研究者のための著作権ガイド』(有斐閣)(共著)、『ITビジネス法入門—デジタルネットワーク社会の法と制度(共著)』(TAP出版)、『重要判例解説』(有斐閣)、『著作権判例百選』(有斐閣)など多数。

AI法研究会会員  
<https://www.aiandlawsociety.org/>

【予習のために有益な資料、リンク】

- AIと著作権の関係等について(文化庁)(2023年5月30日)  
[https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai\\_team/3kai/shiryo.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_team/3kai/shiryo.pdf)
- AIに関する暫定的な論点整理(AI戦略会議)(2023年5月26日)  
[https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai\\_senryaku/2kai/ronten.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_senryaku/2kai/ronten.pdf)

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは9月6日(水)9:00以降

- インターネット [www.ou.tmu.ac.jp/web/](http://www.ou.tmu.ac.jp/web/)
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口  
(飯田橋キャンパス:平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)

- ・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ・申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ・高校生は、在学高校名と学年を明記してください。



# 日本経済の復活に必要なもの

高校生無料  
会員・一般は有料

オンライン



日時 11月27日(月) 18:30~20:00

単位  
1

高校生専用講座コード 2331G105

講座名 **安い30年 脱却への道**

受講料 3,000円(1回) ※高校生無料

定員 一般40名 高校生20名

講座形式 オンライン

本講座は、講師である東京都立大学 経済経営学部 宮本 弘暁 教授が出演した4月2日放送のNHKスペシャル「ジャパン・リバイバル “安い30年”脱却への道」でのコメント、著作である『51のデータが明かす日本経済の構造』(PHP新書)等の内容をもとに特別にオンライン講義でお届けします。

## 講座スケジュール

※アーカイブ配信(録画:7日間限定)も視聴できます。

### ●11月27日(月) 18:30~20:00 日本経済 安い30年 脱却への道

日本経済はこれからどうなっていくのでしょうか？

「物価上昇」や「上がらない賃金」といったニュースが連日、テレビやネットで報道されています。また、日本経済はこの30年間、凋落傾向にあり、いまや衰退途上国になったとも言われています。さらに、少子高齢化、気候変動問題など、日本経済は多くの課題に直面しているといわれます。

本講義では、日本経済の現状をわかりやすく解説し、これから日本経済がどうなっていくのか？また、どうすればいいのかについて皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

#### <参考：51のデータが明かす日本経済の構造 から>

日本の「物価高・低賃金」の根本原因はどこにある？

- ◆物価 — 「30年ぶりの物価高」が意味するもの
- ◆賃金 — 「世界で一人負け」日本の低賃金
- ◆企業経営と労働 — 「人やモノにお金をかけない国」日本
- ◆「未熟な資本主義」を脱却する方法

※日本経済再生の希望 — ①社会農業

※日本経済再生の希望 — ②教育の大改革

#### 講師略歴

Ph.D.(経済学)。慶應義塾大学経済学部卒業。米国ウィスコンシン大学マディソン校にて経済学博士号取得(Ph.D. in Economics)。国際大学学長特別補佐・教授、東京大学公共政策大学院特任准教授、国際通貨基金(IMF)エコノミストを経て現職。

専門は労働経済学、マクロ経済学、日本経済論。日本経済、特に労働市場に関する意見はWall Street Journal、Bloomberg、日本経済新聞等の国内外のメディアでも紹介されている。

主な著作に『労働経済学』(新生社)、『51のデータが明かす日本経済の構造』(PHP新書)、『101のデータで読む日本の未来』(PHP新書)など。

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは9月6日(水)9:00以降

●インターネット [www.ou.tmu.ac.jp/web/](http://www.ou.tmu.ac.jp/web/)

●東京都立大学オープンユニバーシティ窓口  
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)

●電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)

・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。

・申込みは受講者個人ごとに受付けます。人数だけの複数申込みはできません。

・高校生は、在学高校名と学年を明記してください。



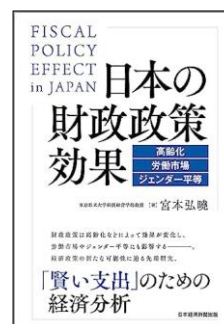
#### 講師

みやもと ひろあき

**宮本 弘暁**  
東京都立大学  
経済経営学部  
教授



(PHP新書：2022)



(日経B P：2023)

# 科学が開く未来への扉

## 東京都立大学 研究センター紹介講座

高校生無料  
会員・一般は有料



### 東京都立大学 研究センター・リサーチコア

本学の研究は人文・社会・自然科学の各分野で高い水準にあり、それぞれの専門領域で優れた実績を挙げています。これらを有機的に結び、世界最高峰の研究拠点を目指すのが研究センター・リサーチコアで、学内外に研究成果を発信しています。研究センターシリーズ「科学が開く未来への扉」では、本学研究センター・リサーチコア最先端の研究成果を紹介していきます。



研究センター長  
小泉 明 特任教授  
工学博士・技術士

### 水道システム研究センター

今や水道システムは、いつでもどこでも手に入る不断のライフラインとして認識されており、「安全でおいしい水」への需要者ニーズも日々高まっています。東京都の場合は地中に約2万7千キロ、全国では73万キロ以上の水道管路が埋められていますが、国内の多くの水道施設は、老朽化の時期を迎えつつあります。日本は世界をリードする高水準な水道技術を有するトップレベルの水道先進国ですが、水道管路の適切な維持管理や予防保全、更新計画、また良質な水源の確保など、水道施設の管理は国民の生活に直結するだけに重要かつ継続的な課題となっています。本研究センターでは、そうした状況の中で水道システムを対象とした産官学共同研究について主導的な立場で参加し、次世代型水道システムの実現に向けて多岐におよぶ調査研究を行っています。

#### センターの先進性

本研究センターでは、東京都における区部の大規模水道と、多摩地域や離島における中小規模水道の両者を対象に、総合的な調査研究から蓄積される現場の情報をビッグデータに集約し、データマイニングにより構築したエキスパートシステムでの制御、最適化理論を活用した計画決定、総合評価指標の構築などを軸に、次世代型水道システムを目指しています。また学術資産としての論文の発表数は、日本水道協会の「全国水道研究発表会」における学校・公的団体で連続15年間以上にわたり第1位を記録するなど、教育的な効果も含めて積極的に取り組んでいます。

#### センターの未来像

本研究成果を国内における水道の現場へ適用させるべく、東京都水道局をはじめ国の研究機関との長期的な共同研究へ発展しています。また、コロナ禍で中断していたソウル市立大学との共同研究及び学生交流の多様な進展を継続するとともに、フィリピン、インドネシア、インドなどアジアの大学を中心に研究交流体制の構築を図り、アジアのみならず世界に向けて、本研究センターの研究成果を発信していきます。

### 東京都立大学 研究センター・リサーチコア

水道システム研究センター	宇宙理学研究センター	気候学国際研究センター	水素エネルギー社会構築推進研究センター
島嶼火山・都市災害研究センター	子ども・若者貧困研究センター	エネルギーインテグリティシステム研究センター	金融工学研究センター
ソーシャルビッグデータ研究センター	生命情報研究センター	医工連携研究センター	量子物質理工学研究センター
言語の脳遺伝学リサーチコア	コミュニティ・セントリック・システム リサーチコア	サービスロボットインキュベーションハブリサーチコア	

# 科学が開く未来への扉 水道システム研究センター

日時	11月4日、11日、25日、12月2日（土） 15:00～16:30	単位	1	高校生専用講座コード	2331G110
----	---------------------------------------	----	---	------------	----------

## 講座名 次世代型水道システムの実現に向けて

受講料	10,100円（4回）※高校生無料
定員	一般30名 高校生約10名
講座形式	対面:飯田橋キャンパス

本研究センターは、東京都をはじめとする国内の水道事業体のシンクタンクとして、さらには、アジア諸国における水道をリードする技術の拠点としての進展を視野に入れて活動していますが、今回の講座では水道システムに関する共同研究や最先端の研究成果を4回にわたって紹介します。

**講座スケジュール** ※当講座は対面式で実施 ※アーカイブ配信（録画：7日間限定）も視聴できます。

### 講師

11月4日（土） 15:00～16:30	<b>将来も持続可能な水道システムに関する最近の動向</b> 次の世紀を見通した次世代型水道システムの実現に向けて、産官学連携による多様な調査研究を推進しています。中でも、水道管路の総延長は全国で73万km以上にも及びますが、今後は耐震化による更新が必要です。今回の講座では最近の共同研究成果を分かり易くお話ししたいと思います。	東京都立大学大学院 水道システム研究センター長 こいずみ あきら <b>小泉 明</b> 特任教授
11月11日（土） 15:00～16:30	<b>安全で美味しい水道水はどのようにつくられるか？</b> 水道から給水される水は安全でなければならないと考えています。そのために、日本の近代水道ではどのような努力をし、水道水を美味しくするためにどのような努力がされているのでしょうか。次世代に渡り安全で美味しい水道水を給水するためには、今後どのような努力が必要かお話しします。	元東京都水道局 水質センター所長 水道システム研究センター さとう ちかひさ <b>佐藤 親房</b> 博士(工学)
11月25日（土） 15:00～16:30	<b>IoTやAI技術を活用した水道インフラの維持管理</b> 老朽化が問題視される水道インフラでの重大事故を未然に防ぎ、維持管理の負担低減や効率化を図ることが、人口減少社会の到来、自然災害が激甚化する我が国において重要な課題となっています。今回の講座では、IoTやAI技術を活用した水道インフラの維持管理について解説します。	東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 あらい やすひろ <b>荒井 康裕</b> 准教授
12月2日（土） 15:00～16:30	<b>水道水を水源林とダム貯水池で守る</b> 東京都水道局は「水源の森」を100年以上の長きにわたって管理してきました。森林の育成と水道水の関係性は、イメージとして理解できるかもしれませんが、データに基づく科学的・定量的な裏付けは意外と少ないのです。そこで、共同研究を通じて得られた、森の保水力、森の土砂浸食防止機能、貯水池の水質管理などについて、データに基づいて解説します。	東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 よこやま かつひで <b>横山 勝英</b> 教授

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは9月6日（水）9：00以降

- インターネット [www.ou.tmu.ac.jp/web/](http://www.ou.tmu.ac.jp/web/)
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口  
（飯田橋キャンパス：平日9時～17時30分）
- 電話 03-3288-1050（飯田橋キャンパス）
- ・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ・申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ・高校生は、在学高校名と学年を明記してください。

※高校生の参加は無料です。4回シリーズの講座ですが、高校生は1回だけの参加も可能です。